なかさと
毎月一回15日
定価 1部5円
発行所
中里村公民館
現在人口
男 4,494
女 4,513
計 9;007
世帯数 1,711

年頭のあいさつ

中里村長 高橋幸作

一陽来福、輝しい新春を迎え謹しんで村民のみなさまにご挨拶を申し上げます。

昨年は国内的には、種々人災の多い年でありました。経済面では高度成長のムードの中で、一般的にはめざましい発展を遂げたと申せましょう。中里村においても年々各般にわたって進展し、村の諸施策におきましても、みなさんの非常な御理解によりまして、教育、産業基盤整備を中心として、予算は実に一億二千万円をこえ、所期の成果を着々とおさめつつあります。

さて、最近の村の趨勢に目を点じてみまするに、生産所得の伸長にめざましいものがあり、最近三ヵ年の伸び率は総合で六・八%、農業面では五・一%と推計されておるわけであります。しかし、一万人口動態の面では、全国的とは言え過去数ヵ年間の青少年層を中心とした県外流出は著しいものがあり、現在は多少落ちつき、減少含みの横這い状態でありますものの就業者の高令化はおおうべくもなく、即ち、格差是正、魅力ある村づくりの必要を痛感する所以がここにあります。

中里村の当面の大きな課題の一つは、清津川右岸段丘地開発があります。この事業は一昨年から県技術陣による実地調査の段階に入り関係方面との折衝により、昭和四十年度より着工される公算が強く、明るい見通しとなってまいりました。これが開発の暁には、本村の農業生産は一躍現在の五十%増しになると目論まれはするものの、工事費も数億を要するもので、この成就の可否はあげて地域住民のよりよき理解と熱意にかかっていると申し上げても過言ではございません。

次ぎに農業構造改善事業の実施でありますが、これについても国、県との折衝も進み、本年は計画立案の段階とし、村民のみなさんと一体となって我が村の農業構造改善の青写真をつくり上げ、これも昭和四十年度に一部着手の方針で事務を進めて行く所存であります。以上、当面二つの目標を掲げ、本年はこれらの準備段階と位置づけました所以は、何事を遂行するにも計画が肝要であるということと、当然予定される経費の培養が必要だという点であります。もちろん、本年は山積する諸事業の遂行は強力に推進してゆかなければなりませんが、自治の主旨に沿った広い視野に立って財政面では調和を保ちつつ仕事を進めてゆきたいと存じております。

年頭にあたり、中里村の現況と課題の一端を申し述べ、本年もみなさんにとって希望の多い年でありますことをお祈り申し上げると同時に、村の行財政に対する一層の御協力を賜らんことを切にお願い申し上げる次第であります。

頌春

謹賀新年

中里村議会
議長 斎藤政治
副議長 村山重行
議員 服部正義
服部武男
島田勝平
関沢甚六郎
桑原寛平
富井博
上村賢造
岡村弘美
桑原武義
上原有之
藤田宇一
羽鳥隆吉
鈴木佐十郎
上原国一
南雲吉之助
鈴木寛一
江口平五郎
吉楽仁松
樋口竜次
中島迪治
外事務局一同

中里村選挙管理委員会
委員長 高橋良平
委員 山田朝平
徳井善七
高橋信雄
外事務局一同

中里村教育委員会
委員長 藤田五郎
委員 鈴木勝吉
樋口与三郎
阿部一郎
教育長 村山軍英
外職員一同

中里村役場
村長 高橋幸作
収入役 広田嘉左衛門
外職員一同

中里村農業委員会
会長 高橋幸作
副会長 高橋熊蔵
委員 羽鳥隆吉
大島昭三
村山信一
村山半平
広田要吉
上原甚作
山田弥吉
南雲茂作
桑原清
羽鳥与五郎
南雲正雄
藤田政清
南雲宗司
吉楽実太郎
吉楽富徳
井ノ川友春
富井今朝芳

富井利三郎
鈴木寛一
南雲長寿
外職員一同

中里村民生委員
民生総務 大島孝平
委員 山本芳治
吉楽利治
広田フク
武田ミノル
樋口チサ
樋口喜蔵
山田定信
山本良平
山田章次
高橋源平
桑原正義
鈴木一郎
藤田正弥
桑原清太郎
吉楽重利
斎藤大郷
村山利功

農業協同組合
中里農協組合長 広田要吉
専務理事 上原国一
外役職員一同
倉俣農協組合長 高橋熊蔵
専務理事 藤ノ木利一
外役職員一同
貝野農協組合長 羽鳥隆吉
外役職員一同
田沢開拓農協組合長 村山富次
外役職員一同

―寄稿―

「言葉」

服部輝雄

故里の訛懐し停車場の
人ごみの中にそを聞きに行く

魚沼の言葉は案外よそへ行っても通ずるといわれ、それを信じてさほど自分の言葉を気にかけたことはなかった。

小学校二、三年頃の子どもたちが「ネラオッ(弟)がワタシンチのお母さんにサバランタンダゾ」

「だってネラオジは、私にバカマ、そう言ってナンデモシネテガン二石をナゲランダンガ。アネロワリヤロダゾとお母さんがいっていた……」

村にいた頃、よくお昼休みにこんな話をして笑ったことのある方言。学校で標準語をつかいなさいと先生に教えられた子どもたちも、家へ帰ると学校語(標準語)と家庭語(方言が多い)の入りまじった会話が想い出され、一人笑うこともしばしばですが、ところが、この言葉を四十年来使い馴れてきた私にとって、これほど閉口するなどと考えてもみなかったのであるが、東京へきて会社に勤める現在、一番困まることは、人とそして電話での応答である。はじめの頃は電話には出ないことにしていたのであるが、そういつまでも出ないわけにもゆかず自分では一生懸命、標準語(のつもりで)で応答しても相手には一こうに通じなかったりするので、電話のベルが鳴るとゾーとすることもあった。

あと二ヵ月余りで学校を出る方々が、集団就職や社会人として第一歩を踏みだすわけですが、多分就職して一番閉口することは、この言葉ではないかとおもう。なにも東京弁を使うということではなく(東京弁も方言ですから)学校で教わった国語の言葉を自由に使い得るようになること。幸いに最近は学校で先生方が標準語を使うように指導していることはほんとうによいことだとおもっているが、一日の授業を終って校門を一歩出ると先生方の一日の説法も屁一つ、先述の子どもたちの会話となってしまう。

親たちの言うことをきかなくとも、先生方の言うことは絶対と信じている子どもたちに「オラウチあたりで、ソッチの言葉使ってなんになると、人目がワリカナ」なぞと、せっかくの子どもたちの芽を摘みとってしまわないように。どこへ行っても自分の言葉に自信を持って話せる標準 方言をまずオラが村からうみだすことを念ぜつアチャマ、サイナラ。

(筆者は東京都昭島市)

雑感

一人では持ちあげることのできない重たいものでも、みんなで力を合わせれば持ちあげることができ、三人よれば文珠の智慧も出るとはいうものの、こんなことは子どもでも知っている理屈とおもうのだが、それがなかなかできない。

新生活運動の一つとして、時間励行、会合などの時間を守りましょうとさかんにいわれてきたが、うまくいっているだろうか。よく部落の区長さんや婦人会長さんにあなたの部落の寄合いは時間励行ですかときいてみることがあるが、以前よりはよくなったとしかいってくれない。

狭いところで恐縮しているがそれでも毎日のようになにかの会議が公民館の二階で開かれる。係の人や世話役があらかじめ〇〇時から〇〇時までお願いしますと使用手続きをしてくれるが、そのとおりにはじまった会合はほとんどない。遅れるのが普通のようである。なかには一時間近く遅れる会議もある。時間までにこれない人はおそらくそれ相当の理由があってのことで、出席できないとか、遅刻するからはじてくれぐらいのことは連絡してくれるのだろうが、そうかといって二人や三人では、定刻云々といったところではじめようにもなんともしようがないのである。定刻までに集った人たちは退屈して不平を鳴らし、係の人は困ったように、あっちこっちへ電話したりして遅れることをあやまる。なんとかかんとか参会者の顔ぶれも揃ってようく会がはじまるのだが、こんどは閉会時間がまた守られない。開会時間同様に何時までという時間があまりあてにならないのである。

時間の問題一つとってみても、時間のきめ方、会合の持ち方などみんなで工夫し考えあわねばならないことがたくさんある。

新生活運動は流行語のように忘れ去られてはならない。美しく、たのしい生活、みんなが仲よく、明るい社会をつりあげていくために、どんな小さな問題からでも、一つ一つ掘り起して解決していきたいもの。

なかさと文芸

中里俳句会新年初詠

席題「七草」

土牛
七草に粥煮る祖母も喜寿かな
紫紅
寄る歳ぞなずなの粥の温さ
天来子
七草は朝粥に過し二日酔
桂仙
七草の香り豊かに年賀終ゆ
芭月
七草や二見ケ浦に契中体
玉泉
七草や旅に見送る雛あり
大洋
七草や初日を受けて勢芽生ゆ
天来子
七草や酒につかれて小豆がゆ
芭月
七草になずなをせがむ老婆かな
紫紅
七草や法印の具に霙降る
土牛
七草のなずなもなくて粥啜る

兼題「新年雑詠」

桂仙
孫達は紅葉のお手々に御慶かな
浄化せる天に生きむ日の初
天来子
それぞれの性想わせる賀状かな
今年もと願いてめくる初暦
土牛
暁篠に酔し老爺の顔の皺深し
客ありて酒汲む部屋に嫁が君
玉泉
寒菊の霜も七分松の門
寒うども日射しに芽生う初句会
芭月
新玉の高砂掛けて夫婦宴
新年のかわす言葉も永遠ぞ
大洋
松の木も切らで育つ元旦かな
新春の光を形に心新
花栞
張替えし障子明るき御慶の間
紫紅
白樺の疎林に初日浮き揚る
鶏鳴は今朝初めてに聞くごとし

短歌

相春
あこがれの的とうらやむ美貌より心の錦望め若人
スキーのる子等は小さき丘の上夕陽をあびて喜々楽しむ

編集後記

▼中里村の飛躍的な発展を期するために、計画を練り、財政力を貯えやがて来たるべき段階に備える年にあてたいと、これは高橋村長さん年頭所感の一端。いうなれば村政にスタミナをつけようということ。曰く段丘地開発、構造改善事業、道路整備、教育施設の充実、各種福祉施設の拡充等々目前に控えた課題は山積みです。これをきりひらいていくことはなかなかもって容易ならぬことで、よその町や村におくれをとらぬよう村民一致協力して、村政のスタミナを培いたい。

▼そのためにもお互いにもっと村政を知りたいもの。「知らしむべからずよらしむべし」は昔のことで、いまは住民一人一人みんなが主体者です。地域の課題や村政におおいに関心をもち理解を深めたい。関心と理解なきところに協力は生まれてこない。民主政治はお互に納得しあうことから出発します。納得できない問題があったら、納得ゆくまで話しあうことが肝腎です。(土)

年頭の辞

中里村議会議長

齋喜政治

昭和三十九甲辰年の新春を迎えるに当り、謹んでお祝詞を申上げます。昨年中は諸事万端一方ならぬ御厚情を蒙り、有難く御礼申上げます。なお、本年も一層の御支援、御協力を賜りますよう、心からお祈り申上げます。

過ぐる三十八年は、早春二月異状な大雪に悩まされ、大変苦労致しましたが、作付当時の雨天続きも、其の後比較的順調な気象状況に恵まれ、中里村としてはさしたる天災地変もなく、一般農作物も農家の努力と相俟って予想以上の成果をおさめ、更に特殊農産物の成績もまことに見るべきものがございまして、我が中里村産業振興の上から見て、喜びに堪えない次第でございます。

村行政の面に於きましても、それぞれ計画に基づいて実施されて参りましたが、何分限りある財源を以ってしては、総ての要求を充分満たす訳には参りませんので、種々不満の点も多かろうと存じますが、私共は当局と密接な連携を保ちながらよく慎重に研究討議を重ね、緩急軽重の度合いを考慮して、施策の順序を誤らないよう実行に移して行きたい所存でございますので、何卒村民各位の理解ある御協力と御指導を賜りますよう、広く御意見を拝聴いたしたく念願しているものでございます。

本年は御承知の如く、国においてはオリンピックが開催され、県においても国体が開催されるなど、国家的にもまことに多彩な年と言わざるを得ません。我が日本の国が世界的に、また新潟県が全国的によりよく認識を深めて頂く為の絶好な機会であって、これらの行事が遺憾なく遂行され、初期の目的が達成されますよう心からお祈り申上げると共に、我々は中里村発展のため全力を尽して、一日も早く住みよい理想郷として後進性を脱却し、将来に向って輝く希望を持ちながら、中魚沼郡市の中核をなす、我が中里村の面目を大いに発揮出来ますよう、本年こそ村当局を中心にあらゆる叡智を結集して、具体的且つ綿密な計画を樹立して着実にこれを実行に移すべく最大の努力をいたし、中里村産業の基盤をなす農業の構造改善、中小企業の合理的近代化、そして道路、橋梁の整備拡張、教育衛生施設の拡充強化、さらに天恵的な観光事業の誘致、山林資源の開発、河川改修等、適所適策の目標に向って一歩々々実現に移し、健康で豊かな明るい家庭を築き上げ、社会道徳の高揚を計って、総ての犯罪、災害を未然に防ぎ人造り村造りから平和な楽しい国造りへと進み得るよう、常に和親協力、一万の力を結集してお力添えいただきますよう、年頭に当って特にお祈り申上げる次第です。

なお、末筆まことに失礼ながら、村出身の郡外、県外各地に御活躍の皆様方の日頃の御支援御協力に対して、深甚なる感謝の意を表すると共に、愈々御多祥にして御発展あらん事を心からお祈り申上げ、併せて全村民の皆様が益々御健勝で御多幸ならん事を衷心より祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

第四回 定例村議会

追加更正予算など決る

第四回定例村議会は、去る十二月二十四日招集され、会期一日の日程で第七回一般会計才入才出追加更生予算など付議事件十件を慎重審議し、それぞれ可決した。

主なるものは次のとおり。

▽工事請負契約の締結

現年度発生災害田羽毛地区水路復旧工事請負契約についての締結であるが、これは、桔梗原土地改良区田羽毛地内水路（隧道）を延長八十七米に亘りコンクリート巻立するもの。

この事業は、工事費の起債の関係から、村営事業として施工することとなり指名競争入札の結果、三百三十万円で三島土木に請負わされたもので、工期は、三十八年十一月二十五日から三十九年三月十日までとなっている。

▽追加更正予算関係

一般会計才入才出予算は、今年度第七回目の追加更正で今回で一億二千万円の大台に達したわけである。

主な内容は次のとおり。

総額　三百十六万七千六百円

▽才入

村税百四十六万九千九百円（村民税、固定資産税）

分担金二十六万三千円（一般林道事業分担金）

国庫支出金十三万一千百円（衆議院議員選挙委託交付金ほか）

県支出金百三十万三千六百円（林道振興費補助金ほか）

▽才出

村議会費△十八万円（議会費更正減による）

役場費七十九万六百円（普通旅費、庁用事務消耗品ほか）

消防費六万五百円

教育費三十三万九千九百円（小中学校施設設備費ほか）

社会及び労働施設費六万九千百円（保育所費ほか）

保健衛生費三万三千五百円（隔離病舎費ほか）

産業経済費百六十二万九千円（農業振興、畜産振興、林業振興費）

選挙費十二万五千円（衆議院議員選挙費）

公債費三十万円（一時借入金利子）

追加更正予算は一般会計のほか、国保特別会計（事業勘定、施設勘定）の追加更正がなされたが詳細は略

才末たすけあい募金ありがとうございました

中里村共同募金会

中里村社会福祉協議会

去る十二月に行なわれました「才末たすけあい募金」は村民の皆様の御協力により目標額を上まわる成績で完納することができました。これは、ひとえに村民の皆様の社会福祉に対する温い御理解のたまものと感謝申し上げます。

この浄財は民生委員協議会等と慎重審議をいたしまして有効に使用させて頂いたわけですがその収支の状況を次のように御報告いたします。

◎収入の部

一般募金＝六万四千六百八十二円

田沢中学生徒会寄附金＝二千三百四十円

苗場観世音賽銭寄附金＝五百円

合計＝七万一千六百六円

◎支出の部

社会施設及び病院慰問費＝一万八千三百円（養老院、上杉病院等二十一ヵ所六十一名）

生活困窮者慰問品費＝一万八千八百七十円

身寄のない精薄者施設入所者衣料品代＝六千円

など支出面では主なものを記載いたしましたが、なお残金につきましては今後の福祉活動に有効に使わせて頂きます。

この外衣料品寄附者として、上山、山崎商店、仲林川市さん、山崎、武田みのるさん等から多数の衣料品を頂きそれぞれ適切に配分いたしました。以上をもちまして才末たすけあい運動報告とお礼のことばといたします。

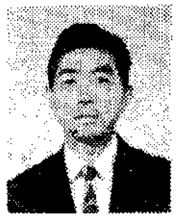
国保税の滞納

みんなの迷惑

国民健康保険では、今年度低所得者に対し大巾な減税を行ない、この対象となった世帯は全世帯の半数以上に亘り、減税額も六十万円を突破しました。しかしまだ少数ですが、国保税を滞納している方があります。給付率引上げや、減税したりして被保険者の立場に立って改善に努力していますが、税の滞納者がいますと、国保運営に支障をきたし多くの人の迷惑になります。この点をよくご理解下されて期限内に納入下さるようお願いします。（役場国保係）

年頭雑感

教育委員長 **藤田五郎**



新年お目出度う御座居ます。村民の皆様お揃いにて昭和三十九年の新春を迎えられたことと存じ、お喜び申上げます。

戦後の文化の進展は洵に目覚ましく、我が中里村の戦後十九年間の歩みは、村内総ての面において急速なる発展を遂げ、尚その止まるところを知らず進展しつつあることは当然とは申しながら御同慶に堪えません。昨年は、衆議院議員並びに村議会議員の選挙により吾々の選良を送り出したことも、村、ひいては国家の発展上頼もしい限りであります。本年は新潟国体及びオリンピック大会に際会し、日本国発展に相応しき行事であることを心から喜ぶものであります

村政も逐次複雑多岐となり、村当局始め村議会、関係諸機関の活躍も容易ではありませんが山積せる重要課題に対し、怪刀乱麻を断つの手腕を期待する次第であります。我々教育委員会においても、同様幾多の重要な諸問題が山積していますので、一致協力して学校教育、社会教育の面に積極的に取組んで参る所存でありますから、一段の御後援と御鞭撻をお願い致します。毎年のことながら諸事業推進のためには、経費の面において蹉跌を来すことは単に我が中里村に限りません。教育の国家的事業実施のための国県の予算の裏付けが貧弱又は皆無であるため、かけ声だけに終る面の多ゝあることは、教育を基本方針通りに積極的に推進し得ざる重要原因であり、残念至極であります。機会ある毎に県当局へ意見具申又は陳情につとめつつあるにも拘わらず、総ての施策が具体化するには程遠きを思わせる点前途暗澹たる心境であります。人造り、国造りの超国家的大方針が打出されたる今日、健全なる精神は健康なる身体に宿るの金言の通り、健康第一主義に徹し村教育の成果向上と、村発展を目標としてより高度の理想像を描きつつ、邁進すると共に、村民各位の益々御多幸をお祈りして年頭の辞と致します。

冬季分校へ図書寄贈

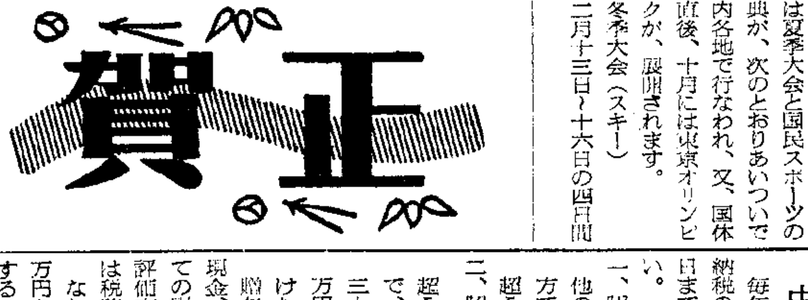
富井先生の篤志

清津峡小学校西方西田尻冬季分校の富井虎好先生（村内荒屋）は、恵まれない冬季分校で子どもたちに読ませて下さいとこのほど児童図書十八冊を学校へ寄贈し、子どもたちによろこばれています。

不健全な図書を追放し、子どもたちによい本を与えようと世の親たちや関係者の間で「よい本を読む運動」がすゝめられていますが、中里村教育委員会では、本を読もうとしても本に親しむ機会に恵まれない辺地の子どもたちへの富井先生の贈本に感謝しています。

▽富井先生の言葉

一人でも多くの児童生徒がこの本を読んで、一人でも多く社会の為に役立つ人になってくれるよう願ってやみません。



いよいよ来た!!

新潟国体

東京オリンピック

一九六四年、いよいよ、新潟国体、東京オリンピックの年です。国体においては二月に冬季大会、六月には春季大会、八月には夏季大会と国民スポーツの祭典が、次のとおりあいついで県内各地で行なわれ、又、国体の直後、十月には東京オリンピックが、展開されます。

◎冬季大会（スキー）
二月十三日～十六日の四日間

◎春季大会（陸上競技外二十八種目と公開演技としての山岳）
六月六日～十一日の六日間

◎夏季大会（水泳）
八月一日～四日の四日間

◇ ◇ ◇

◎オリンピック東京大会
十月十日～二十四日の十日間

贈与税の申告と納税

毎年二月は、贈与税の申告と納税の月です。次の方は二月末日までに申告と納税をして下さい。

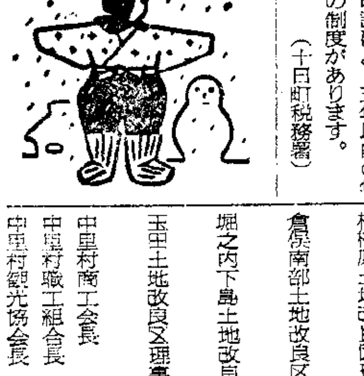
一、昭和三十八年中に親族その他の個人から財産をもらった方でその合計額が二十万円を超える場合。

二、昭和三十八年中に十万円を超える財産の贈与を受けた方で、昭和三十七年又は、昭和三十六年中にも同じ人から十万円を超える財産の贈与を受けた場合。

贈与財産には、不動産のほか現金、預貯金、諸権利などすべての財産が含まれますが、その評価方法や評価額が不明の場合は税務署へご相談下さい。

なお、納付する贈与税額が三万円を超える場合で一時に納付することが困難の理由があるときは、申請により五年以内の年賦延納の制度があります。

（十日町税務署）



謹賀新年

官公庁団体長

中里村消防団長	鈴木国一郎
田沢駐在所	和田正平
倉俣駐在所	佐藤清作
貝野駐在所	中沢敬作
田沢郵便局長	清滝勝蔵
倉俣郵便局長	高橋徹
貝野郵便局長	阿部操
田沢駅長	高主喜三郎
県水産試験場中里支場長	浅野澄夫
食糧事務所田沢出張所長	大平辰次郎
津南地区農業改良普及所長	清水文平
営林署田沢担当	島越修二
営林署倉俣担当	青山剛一
中里村猟友会長	大島仁平
苗木組合長	村山重行
タバコ耕作支部長	高橋幸作
養豚組合長	富井宗五郎
桔梗原土地改良区理事長	広田要吉
倉俣南部土地改良区理事長	山田久男
堀之内下島土地改良区理事長	中島孟
玉田土地改良区理事長	高橋幸作
中里村商工会長	広田義一
中里村職工組合長	佐藤政雄
中里村観光協会長	高橋幸作
中里村遺族会長	大島孝平
中里村身体障害者福祉協会長	服部武男
中里村社会福祉協議会長	高橋幸作
中里村連合青年会長	高野寿明
中里村連合婦人会長	高橋敏子
中里村緑会長	斉喜なつ江
中里村青少年問題協議会長	高橋幸作
中里村衛生自治会長	中島迪治
中里村保護司会長	高橋源平
中里村保育所長	斉藤大馨
中里村PTA連絡会長	樋口秀夫
田沢小PTA会長	上原国一
高道山小PTA会長	大島正
清津峡小PTA会長	樋口亮策
田沢中PTA会長	樋口秀夫
倉俣小中PTA会長	鈴木重義
貝野小PTA会長	藤田宇一
貝野中PTA会長	南雲吉之助
十高田沢分校振興会長	藤田五郎

＜お祝の言葉＞

成人の皆様へ

中里村教育長　村山軍英

成人の皆様お目出度うございます。申すまでもなく一月十五日の「成人の日」は、新らしく満二十才に達したあなた方が、一人前の社会形成者として門出する日であり、国がこれを祝日として祝う日であります。皆さんは、本日以後大人として世の中を濶歩出来る訳であります。然しながら大人になったことは非常に意義深いことでありまして、いままでは総ての挙措動作が未成年者として軽く取扱われていましたが、成人となった以上は、自分自身の挙措行為が法的には勿論、あらゆる面に於いて一個の人格として取扱われるのであります。学校教育、家庭教育、社会教育を通じて一通りの社会常識の基礎は養なわれていますが、世の中のその日その日は決して平坦ではありません。重荷を背負って山に登るに等しいものであります。男子の皆さんはやがて一家の支柱となり、女子の方は一家の主婦として活躍されることが、好むと好まざるとにかかわらず約束されているのであります。

敗戦の結果、皆さんの発育期には物資が乏しく、皆さんを育てるために御両親をはじめ周囲の御苦心は如何程でありましたでしょうか。想像に絶するものがあったのであります。その甲斐あって今日立派に大人となりましたことにつき国家社会は勿論、御両親御家族に対し深甚なる感謝の誠を捧げなければなりません。

蛇足ながら私から皆さんに次の四つを御註文申し上げて、お祝の言葉といたします。

一、国家社会の恩を忘れぬこと

毎日平穏無事の日を送っていることの出来るのは、国家社会のおかげであります。従って社会に害毒を流さぬように、少しでも世の中の為になることを実行するよう心懸けて下さい。

二、親に心配をかけぬこと

「孝行をしたい頃には親は無し」とは今も昔も変りません。世の中であなた方のことを誰よりも深く愛し、将来を心配してくれているのは御両親であります。「孝は親を安んずるより大なるはなし」という古い言葉は大いに味うべきで、何とぞ皆さんも親に心配をかけぬようにして下さい。

三、健康に注意すること

如何に優れたる頭脳を持ち、如何に成功するとも健康を害しては、世の中の邪魔者になるのみならず、一生涯を台なしにしてしまいます。呉々も健康第一主義であらねばなりません。

四、努力すること

如何なる業務に従事し、如何なる方面に活躍するにも与えられたる任務に努力し嫌われぬよう社会常識に外れたことをせぬように、又世の中の為あるいは身のためにならぬことをなさぬよう、自他共に一人前の大人として認められるよう努力して下さい。

—感想文—

二十才になって

二十才になってまず第一に頭にうかぶことは、法的に一人前となり、選挙権が得られるということなどですけど、やはり、ハイテーンの延長で、成人として社会に対し、責任と義務を果さねばならないなんて言ってもピンとこないのですが、ともかく、いま四十～五十代の人たちは若い者に対して、第一に酒を飲みすぎる。第二に仕事に意地がたらんと「いまの若い者は……」といわれます。若い者は若い者で「いまある若き青春の謳歌」をさけびます。これは相反するものでしょうか。私は、それは互いに融合できるものとおもいます。若い者といえどもただ凝然と享楽をもとめるのではなく、未来を信じ、将来をつくらんがための青春であり、若い生命であるとおもいます。

「若いときこそ勉強を……」「若いんだからこそ、おおいに山に海に……」「若いからこそファイトをもって農業近代化を……」などと、いろいろと「若いからこそ……」ということでそれぞれの考え力をもっているとおもいます。

人生二十才（はたち）は、青春の花盛り、私たちの特権である若さで、仕事にもおおいにハッスルし、恋もしてみたい。そして「明るく豊かな楽しい社会」をつくるために、私たちも成人として、社会の一員として、二十才（はたち）となったことを機に、一層の努力を試みたいとおもいます。（有桜T・S生）

国民年金もはたちから

成人に達せられた皆さん、お目出度うございます。成人といいますと、まず政治に参加できる、選挙権も得られるし、民法上からは二十才から成人の扱いもします。

社会保障政策の一環として国民皆年金をめざす我が国では、いわゆる農民とか商店の店員とか、いわゆる厚生年金その他の共済法によって将来を保障されていない人達に老後の保障と廃疾事故や一家の生活のにない手を失なったとき、その生活がそこなわれないように、社会共同連帯によって防止するという、国民年金制度があることを御存知のことと思いますが、この国民年金に加入して、その恩恵を受ける権利と社会共同連帯の義務が出来るのも二十才になった時から始まります。

役場の窓口にて受付をしていますので、明るく楽しい建設のビジョンに燃えている皆さんの積極的な届け出を期待しています。年金といいますと掛金を心配する人もありますが、掛金は三十五才まで百円、三十五才以後百五十円です。また家庭の事情で掛金の納入の困難な人は、遠慮なく申し出て下さい。

なお、届出をするときは印鑑を持参して下さい。

（社会厚生課年金係）

村育英資金

貸与希望者受付中

—二月末日まで—

中里村育英事業委員会では、村育英資金貸与希望申込みを、次の要領で受付けております。

❶申込み資格

高等学校を卒業した者（今春卒業見込み者を含む）又は、これと同等以上の資格を有する者で、大学に入学を希望している人。又は、現在大学に在学している人。

❷貸与予定人数

五人以内

❸申込み方法

育英資金貸与希望者は、次の書類を添えて、二月末日までに中里村育英事業委員会（教育委員会事務局内）に申込んで下さい。

〔イ〕育英資金貸与願＝一通

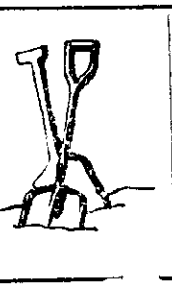
〔ロ〕身分証明書＝一通

なお、詳しいことは村教育委員会にお尋ね下さい。

成人式は五月に

公民館では、成人となられた方々に、社会人としての立派な成長を祝い、今後の活躍を期待し激励して、今年も中里村成人式を挙行する予定ですが、冬期間出稼ぎ者などが多いため、五月に開催します。行事の日どりなど決定次第本人宛お知らせいたします。

なお、今年の村の成人式は、昭和十八年一月一日から十九年四月一日までに生まれた人を該当者といたします。



謹賀新年

学校・公民館

田沢小学校長　木ノ下正一
倉俣小学校長　池田　義正
高道山小学校長　田中富士松
貝野小学校長　桑原　清信
清津峡小学校長　吉田　大吉
田沢中学校長　石沢　藤栄
倉俣中学校長　高橋　英男
貝野中学校長　今成　兆往
十高田沢分校主任　関口　堯平
外各学校職員一同
公民館長　斎藤　大磐
運営審議委員　田中富士松
高橋　信雄
高橋　敏子
大島　正一
広田　要吉
藤田　宇一
桑原　秀雄
外職員一同

▽▽新春雑感△△

県水産試験場中里支場長　浅野澄夫

皆様、佳き年をお迎えになられたことと存じます。このたび当地の内水面、特に溜池、湖沼における魚類の増養殖振興のため拙文をも顧みず、一応、話し言葉といった風で敢えて筆をとらせていただきたいと存じます。

先ず最初に、正月でありますから一風変わったことを申し上げた方がよかろうとこう思っています。正月は確かに酒を飲む機会が多いものです。酒を飲むということは非常に結構なことです。但し、何も食べないで（食べてもホンの少し）酒盃を重ねる人をよく見かけますが、これではアルコール分が人間の肝臓にどんどん吸収し、体に却って悪い影響を与え肝硬変と云った症状になりかねません。もっともご当人は、オレは肝臓が生来丈夫で少しも苦にしていないと言えばそれまでですが、それ故にアイツは賤しい程よく食うなと言われる位にどんどん食べそして盃をなめるので、あれは誠にもって好ましい健康状態であること請合いです。又、飲む程に顔が赤らめになるのは、これは血管は膨脹するので、大変体のためによいのですが、反対に顔面蒼白になるのは血管が収縮する証左で血圧が高くなる原因となりますから、適量を飲むことが肝要だと思います。それから酒肴には何でも構わないのですが、支那で古来から親しまれている「ニラ」という植物野菜が一番よいとか、又牛、豚、鶏類の肝臓、魚の臓物等を食べて酒を飲むと、体内の肝臓へはアルコール分が吸収されないと言われています。

次に煙草（英語でシンガー、朝鮮語ではタンベ）のことを。現在沢山の種類のものが出ていますが、何はさておいても、一番ニコチンの少ない煙草は「しんせい」だそうです。このものを食後に一服ノ深い慰安になるのですが、空腹時及び酒杯を傾けるときはなるべく避けた方が、オン身のためにいいコッツオ。

なお、女性で未婚の方（特に唇の大きい方によく見られる）がぷかぷかとやらかしているのをよく見かけますが、こういう女性は真に愛情はこまやかなことは事実で（このことは既婚者にも言える）あります。しかし、いざ結婚してできるベィビィーは総じて小さいそうです。やはり、タバコに含まれるニコチンなどの仕業でしょうか。子供をゼッタイにつくらないのであれば、チョンガーなる女性も好きなものであれば強いて喫煙を止める必要はありますまい。要は女性たるもの、精神的にも肉体的（特に女性の生理に起る現象が刻々と一瞬の狂いもなく着々と進行していることなど）にも男性と全然違うのですから、その点女性側も考えなければならない面もあるんじゃないかと思っています。こんなことを言ったら、そこいらのメチ公＝Madcnen（メッチェン……独乙語の略）から抗議の鋒先を向けられるでありましょう。

さて、これから我々本来の仕事面に触れることにしましょう。現在私たちが勤めている水産試験場中里支場は県の行政組織の改正で、従来の信濃川養魚場にとって代わって昨年の四月一日に発足を見ました。それで一寸商売じみた旧来のあり方とは全く異なっており、本当に皆様の試験場として脱皮したのですから精々可愛いがっていただきたいと思います。そして養魚その他についておわかりにならない点があったら、我々と共に話し合って解決するようにして下さればお互いにプラスになると存じていますのでよろしくご鞭撻の程お願い致します。当場の所管事務は、内水面の増殖事業、養魚の試験研究調査、養魚技術の普及指導、増殖種苗の育成及び配付などの事項で来年度から本格的にこれらの事項に則った試験研究を行ないたいと思っています。なかでもその年に生れた所謂、当年鯉を従来当場の飼育地において引き続き飼った場合、大半深雪による水界環境の変化で、へい死するという困った状態でした。それで来年はあまり小さい地ではありますが深い池をつくり秋までにどんどんよい餌を与え、体の長さよりも腹太にした仔鯉（当年鯉）をこの池へ入れて、越冬試験を実施したいと存じております。涌水がでる池も結構ですが、余り沢山でると魚は動揺し損耗します。因みに池を深く掘るということは、譬えて見れば野菜を貯える場合、このものは畑から取っても大分長く生きています。これを温度の高低の差のはげしい地上に置くと直ぐ死んでしまいます。それで六大都市にある大きな冷蔵庫（収容能力三千トン～十万トン）では、わざわざ地が深い所へ冷蔵庫をつくって、この中へ野菜を貯えています。これは地下深い所へ貯蔵しておけば、勿論、冷凍機の機械力もありましょうが、温度の高低というものはありません。又、東京の上野公園内だと記憶していますが、東洋一否世界一とかの水族館をつくる計画があります。この館には、熱帯、寒帯、温帯性各種の魚類を飼育し参観させるそうですが、これらの魚（海河の魚の何れたりとも）は水温の急変があっては叶いませんから、地下深くに大きな水槽を築造することによって水温を一定にしておき、ここから各飼育槽へ水を流入する計画で準備を進めているそうです。これらの事柄にヒントを得たわけでもありますまいが、とにかく、三米～四米もの深い池を造ります。勿論、冬の間はコイ、フナ等は餌をとりませんから、その年に生れた鯉は越冬池へ入れる、秋までにビタミン、ミネラル等をしこたま含んだ餌を与えることも更に大事なことだと思うのです。次にフナは当村でも否、県下到るところの池沼にかなり棲んでおります。統計的にも河川漁業のあゆを除くと、鯉に次ぐ大きな収穫があります。しかしこれは在来のふなであるために、往往にして体型崩れ品格を落しているので、このさい百尺竿頭一歩進めて質のよい大きくなるそして美味なふな、これは「げんごろうふな」に改良を加えた「河内ぶな」（大阪地方）の卵（この卵は専門的な用語で恐縮ですが、発眼卵といい、ふ化して仔魚になる直前の卵）を同地から持って来て、当場でふ化育成したものを、当村に所在する養魚組合へ一括分譲出荷をいたしたいと思っています。勿論、来年のこいの仔の分譲とこれに係わる一切の会計事務もこの組合に一任することになっていますから、申込みもこの組合へ行なうようにしていただきたいと思います。この点、県の規則に合致した方向に添ってやっていくわけですから、何分ともよろしくご協力の程をお願い致します。かくすることによって我々が快よく試験研究を勉強する機会をうんとつくりたいと考えるのです。話は重複しますが、生産物品財（鯉仔、二、三年鯉等）の分譲はあくまでも当場の池渡しとし、その場で現金決済（二、三年鯉はこの限りではない）を行なうのでなければ、分譲はお断わりする方針です。このことについては、旧臘組合との打ち合わせ、その他の会合での決定をみた次第です。前記した仔ごいのモードは大、中、小と分ける心組みで、六月十日～同三十日までの間を分譲時期といたしたいとこう思っています。次に、ふなの話がでましたが、ふなのメスとこいのオスとお掛け合わせて、こい、ふなと言った品種をも当場で試験的につくってみたいと思っていますがどんなもんでしょう。このものは魚体の腰は狭いので刺身はとれにくいそうですが、お汁は普通の鯉よりも優るとも劣らない美味だそうですから、こう言った種類をも当地方の如き寒冷な地帯にどんどん殖やしていくのも魚肉蛋白の供給源として必要だと思います。又、「河内ふな」も郡下の至る所の池沼、溜

（六頁へ）

新春山想

公民館長　齋藤大馨

新年お目出度う御座居ます。おたがいに無事で、一家そろって、仲よく新春を迎えることの出来ますことは、まことに芽出たいことであります。本当に新年はいつも目出度いものでありますね。中には年廻りがよくないなどということもありますが、どんな年でも新年はむぎづで清浄、希望に輝いて、目出度く迎えられるのであります。殊に本年は県には国体、国ではオリンピックと待望の世紀の祭典が挙行される年を迎えて、国民等しく一層の喜びを感ずるのであります。世界の眼は東洋の一角、私共の頭上に一様に注がれるのであります。よって先ず新年初頭に当り文化国民として誓った手前その名に恥じざる様、心せねばなりません。

さていつでも思うのですが、新年の喜びは広くて深く、まことに尊いものであります。初日の光りは万里同風と申して、都会も田舎も吾も人も、万人同様に寿齢一つを増して、皆共に喜び共に祝うのでありまして、これ程広く行きわたり、漏れる者のない喜びは又とないと言えましょう。

そして時の流れは初めを知らず終りも知らず、絶え間なく流れて行く中に、年の瀬と云う区切りが古今東西を問わず用いられて、人間の寿命も年で数え、歴史の長さも年で計り、年令、年輪、年功、などと言って、人生と云う旅路の切り目となって居るのが新年であります。それには実に深い意味がありまして、年を送り年を迎え年を重ねて、物の命が続き又ふえて行くことを思うと、新年の喜びには言い知れぬ尊さが籠っており、明けましてお目出度うの一語には、甚深微妙の趣きがあるので御座居ます。ところで新年は唯わけもなく目出たいのではなく深い意味合があって、そこから新年を祝い、元旦をことほぎ、そうして正月の喜びが生れてくるのであります。その意味合を申せば先ず時の流れの早いことに気がついて、うかうかしては居られないと気がしまり、知らぬ間に又一年過ぎたと感じて、二度と帰らぬ一日一日の命の尊さん気がつき、そして楽しいことも苦しいことも絶え間なく一様に、時の流れに移されて行くことも分って、その時その時の心構えや行いに、スキがあってはならぬことなどが味われて、まことに尊い気持になるのであります。そしてこの一生の日暮しに引しまりが出来て、区切りやまとまりをつけるという大切なことが、新年を迎えるにあたって年の暮れ頃から起り、又一方には年末節季の支払いや取りまとめの営みともなるので御座居ます。次にそれに伴って当然起ってくる悔い改めと云うことであります。不行き届きや間違い悪い事や良くない習慣、色色のまずいことを新年と共に改めて、きれいさっぱりと生れ代った気持で迎えるのが、神聖にして清浄無垢な元旦の心であり、営みであります。暮れの煤払いをすませ、洗い清めて、新品を調えて迎える元旦の儀式には、当然心の煤払いも出来て、心にかゝる雲の端もなく、本心真心の一つになってこそ、明けましてお目出とうが、本物になるのです。これは実に尊い正月の意味と申さねばなりますまい。初日の光明らけくという言葉のように、新年はどなたでも新たな希望に燃えて、心の勇み立つ時であります。しかも過去を改めての新しい希望であるから、正しくて公明で、しかも自分の力や事情に応じて、実現の出来る着実な希望や目標の立つのが、新年の明るくて力強い尊い意義であります。「一年の計は元旦にあり」と言うように、希望を持ち目標が立たねば新年とはならぬ程正月は希望そのもので出来て居り、それによって目出たく光り輝いて、少しも暗い影のないのが、新年の風景でありましょう。更に又、自分一人ではなく、限られた人々だけでもなく、万人共通に一人残らず同じように、一つの寿齢を加えて、若い人は成長し、老人は永生きを続けるのであって、ここに平等の喜びと、共通の目出たさがあるのです。そして喜びは大勢ほどよく幸福は人と共に味う時が、一番勝れて居ります。更にそればかりでなく新年には、年賀の交換をして、互いに相手の幸神福昌を祈るのです。これは実に尊いことで、平素は兎角自分のことのみに気をとられて、人のこと等顧みる余裕もなくて、時には人の幸福にけちをつけたがるものですが、正月には自分のことよりも人を先きに立てて、その人の幸福を祝福するという、実に深くて高い心持が出て来るところに社会生活の根本の意味が現れて、人間としての美しい尊い徳性が示されるので御座居ます。これ皆新年の持つ趣、意味合いとも申さねばなりません。何の障りもなく「まあ良かった」という充たされた気持も、元旦の雑煮の中にとけこんで居るのです。かように考え数え挙げると切りもなく、新年のわけがらは、人生の旅路に尽きぬ趣きを持って居るのでありまして、唯、通り一遍の喜びや目出たさではないことを弁えるべきだと存じます。そして新年の意味と喜びとが、唯三ヵ日だけで消えてしまうならば、それはヌカ喜びで本物ではありません。新年の心が一年三百六十五日続いて、その深い意味が日々の日暮しの中に現われてこそ、新年を祝い新年を喜ぶいわれが深まるのです。佳きこの年昇龍の如く、吾が村の発展と皆様方の御多祥を祈りしばし屠蘇の盃をおいて「頭は生きて居るうちに使え」の金言を思いきり噛みしめることにいたします。

フイラリヤ病について

◇集団検診のお知らせ◇

フイラリア病は青森県を北の限界として全国的に発生しており、特に伊豆七島及び西日本には著しい流行地があり、本県においても柏崎、高田の南方にある雪深い山村に潜在地があって、東頸城、刈羽、中魚沼の三郡にわたり発生していることが明らかとなっています。昨年十一月には津南町でも一名の患者が発生しました。

そこで県から、この恐しい病気を防ぐために集団検診を行うよう中里村も指定されましたので、とりあえず、田中、小原、干溝、荒屋の四部落を選定実施することに計画をすすめていますが、これが未然防止によろしく御協力の程お願い致します。

尚、本検診は夜行う関係上、皆さんの深い御理解がなければ出来ませんので、参考までにフイラリア病について概要を述べてみますと

❶寄生虫病である。

フイラリア病は「バンクロフト糸状虫」による寄生虫病の一種です。これはリンパ管やリンパ線の中に寄生するもので、この虫が寄生すると、乳糜症や象皮病となるのです。

❷乳糜症とは

尿が白く濁って牛乳のようになる病気です。腸管の近くのリンパ管がこの虫によって破られ、リンパ管が尿路の方に通ずるために起きます。生命には別条はないが、患者は非常に不安を感じます。

❸象皮病とは、

下肢や陰のうから返ってくるリンパ液が、リンパ腺に糸状虫が寄生するために返れなくなったまま溜り、脚や陰のうが、ふくれあがってかたくなり、皮膚にしわがよって象の皮ふのようになる病気です。

❹バンクロフト糸状虫とは、

雌が七〇～八〇ミリ雄はその半分位の虫で、人体のリンパ管やリンパ腺中に寄生します。これから生じた仔虫は、夜間静脈内に現われ、明方近くになるともとの所へもどります。従って夜血液をとって顕微鏡で調べ、この病気を確定することができます。

❺伝染する

この虫を媒介するものは蚊で蚊が人間の血を吸うと、仔虫は蚊の体内に入りその中で発育し、その蚊が又人の血を吸うとき人体の中に移行するのです。

検査は二月中に実施の予定ですが、前記各部落には更に映画等をもったりして説明会を開く予定にしていきす。

農業構造改善事業

これから指定をうける市町村のために（続）

7 山高きを以て貴しとせず

事業費のこと

平均でいえば一地域で一億一千万円の事業ということになるが、町村の大きさ、つまり農家戸数とか農地面積、家畜などの数によって異なるから、町村によってかなり差がある。それにしても、広大な計画を立て、デラックスな建物をつくり事業費が基準額をはるかにこえ農民の負担も増えるなどというのは問題である。最も真に必要な事業費が多少上回るということがあるのは当然であろう。反対にすぐれた計画であり、しかも必要にして充分ということで経費が下回るということもあって然るべきであろう。単に事業費の多きをもって優れたりとすべきではない。

8 求めよ、さらば与えられん

国の補助のこと

半額国庫負担、基盤整備ならびに交付税をふくめて七割補助、残りは補助残融資を、又融資単独事業は三分五厘でという、今までになかった優遇された助成措置がとられている。その上、国有林の活用、町村事業には起債の面倒をみるということになっており、更に、農地、林地等農用地の取得には特別融資措置もある。補助金の大きさと補助率に合わせて計画も作るということではなく、優れた計画を実現可能にするため、全ての制度をたくみに、フルに活用してその経済的裏付けをなすべきであろう。なお、腹八分目にして事業費にゆとりをもたせ、計画の変更、物価の変動等による事業費の増加に備えておくことも必要であろう。

9 論語読みの論語知らず

基準適用のこと

一率に三反区画でなければならないと勘違いしたり、巾のある書き方のしてある基準を、いつの間にか巾のないように解釈したりしている人が時々見受けられる。北は北海道から南は種子島のはてまで、山間辺地から都市近郊まですべてを含んだ基準であるから、万事どこにでも好都合というものではないが、それ相応に巾をもたせ、現地でも適応できるように工夫してある。その精神をよく汲みとってゆくことが何より大切なことである。勿論、山間辺境の地域とか、新産都市にふくまれている都市、近郊地帯などでは夫々にさらに工夫した進め方、他の政策との歩調を合わせることが必要となってくる。なお、事業の実施は三ヵ年であるが、近代化施設は原則として単年度で仕上げるようにしている。仕事にかかったらぐずぐずせずに一気呵成に仕上げてしまう方がよい。

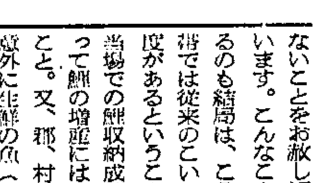
10 住めば都

新しい農村のこと

大きな農場にトラクターが自由自在に活躍し、大牧場には数百頭の乳牛が牧草をたべているといった、平和な、豊かな「農場」風景を背景として農村が形成されるならば、そこはまさしく「都」になるであろう。高い生産力に支えられて高い所得水準を保ち、高い農村文化をもつ農業地域が形成されることとなる。構造改善事業が、主産地の形成と経営構造の改善をもって所得の増大を期そうとするのも究極においては、このような新しい農業地域と文化の形成のための基礎づくりということになろう。

—完—

（農林省構造改善事業課長・小沼勇）



人生往来

◎誕声

子のなまえ	父の名	部落名
清滝とも子	豁雄	東田尻
井ノ川清子	重信	如来寺
森　一雄	哲雄	荒屋
樋口　修	弘	朴木沢
覚張　博文	尚武	山崎
島田　佳久	勝太郎	倉俣
高橋千恵子	治	倉俣
柳　優子	清十郎	本屋敷

◎高砂

新郎　渡辺　茂（二七）高道山
新婦　高橋ハルエ（二五）加茂市

新郎　石沢　義治（二三）津南町
新婦　服部ハルイ（二二）田沢

新郎　樋口　正治（二七）荒屋
新婦　樋口　トキ（二四）小原

新郎　大島　一雄（二八）津南町
新婦　広田　操（二四）干溝

新郎　山田　栄一（二三）津南町
新婦　桑原三重子（二七）東田尻

新郎　滝沢　勝巳（二六）田中
新婦　川崎アサ子（二二）[illegible]栄町

新郎　広田　信由（三一）高道山
新婦　小海タツイ（二八）十日町

新郎　南雲　仁（二五）本屋敷
新婦　樋口　カヨ（二五）小原

新郎　山田　正明（二七）土倉
新婦　関沢トクエ（二五）倉下

新郎　村山　道（二八）東田沢
新婦　小野塚敏子（二二）津南町

新郎　滝沢　正義（三二）田代
新婦　滝沢　セツ（二四）田代

新郎　鈴木　辰雄（二四）重地
新婦　鈴木　ノブ（二〇）重地

新郎　南雲　長治（二三）堀之内
新婦　山本　ヨリ（二一）十日町

新郎　庭野　安治（三〇）十日町
新婦　高橋アツ子（二二）宮中

新郎　佐藤　助松（三三）川西町
新婦　羽鳥　瀞江（二六）新屋敷

新郎　内山　昭次（三二）津南町
新婦　村山スミ子（二四）宮中

新郎　山田　幸男（二九）宮中
新婦　小林サツ子（二三）十日町

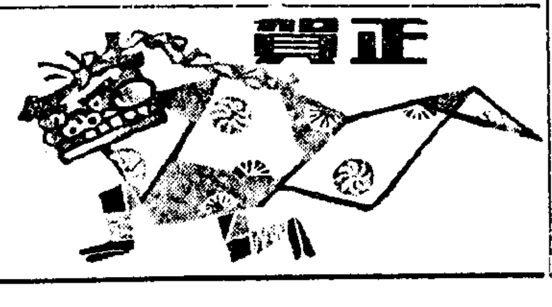
新郎　金沢　庄一（二七）十日町
新婦　村山ミチ子（二三）宮中

◎昇天

氏名	年令	部落名
村山　純子	（〇）	東田尻
村山　蔵重	（六九）	白羽毛
山本　迎	（八三）	小出
小巻沢イト	（八〇）	通り山
山田　セイ	（八四）	土倉
岡村　信一	（三五）	倉俣
阿部　ヨシ	（六一）	新屋敷
高橋栄太郎	（六三）	宮中

（五頁より）

池に埋めつくし、旨い加工品をつくり、この製品をもって郷土色豊かな特産品として売り出すこともあながち夢ではないと思います。今は亡くなられ苦しむことなき平安に永遠に生を享けておられる故、中里村高橋産業建設課長さんもこんなことをおっしゃっておられました。ふなはこいと違い、値段も半値以下ですし、市井のサンマ、イワシよりも旨いものであり死んで少々時間が経っても立派な加工品ができるのですから、この点心配はいりません。因みにふなの刺身はこいと比べものにならない程味覚のよいものであり、亜し酢味噌にしたつくりは、それこそ本当に美味求真をあさる人々の憧れの的となっていることを付言しておきます。先程の加工品のことですが、どんな製品をつくるかは今後の我々の創造で決まることで、今の段階では喋々として申し上げる必要がないことをお赦し願いたいと思います。こんなことを申し上げるのも結局は、こう寒く深雪地帯では従来のこいの成育には限度があるということが、今年の当場での鯉収納成績でわかり従って鯉の増産には問題点があること。又、郷、村民の方々が、意外に生鮮の魚（海の魚も入れて）を喰べるチャンスに余り恵まれていないことも大きな要因だと言えるからです。

以上のように、本年度の当場の事業方針の一端を申し述べましたが、この機会に、当地におられる方々は何時なりともお気軽に当場へ来られ、我々にいろいろなことを教えていただきたい。誰方が来られても愉快に話し合える雰囲気をつくるために立派？応接室をしつらえていますから、交通の不便なところではありますが、何分のご来場をお待ちいたしております。大分長々と書き列ねましたが、年の始めでもあるので寝ころんでご覧になり、御意見なり御質問なりがありましたら、ご連絡賜わらば、私ども甚だもって幸に存じている次第です。